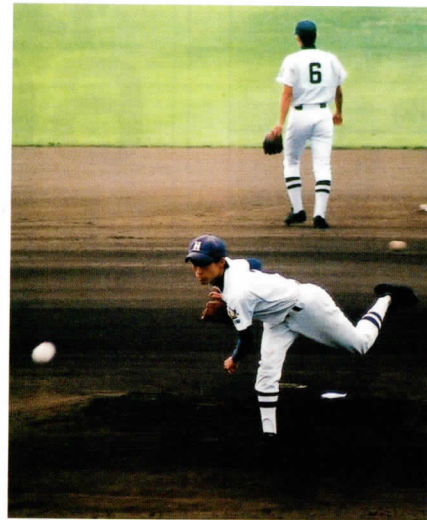


# 龍城球鬼



## 平成25年度を振り返って

平成二十五年度は、春季東部大会優勝という素晴らしい滑り出しで始まった。春季県大会は、二回戦から登場、西部大会五位の浜松南と対戦し、2対1と競り勝ち、夏のシード権を獲得した。準々決勝では、飛龍の強力打線が爆発し、コールドで敗れた。

夏の大会は、二回戦で浜松北と対戦。春季西部大会で優勝した実力校を相手に、エース佐野が3安打無四球の完封、1対0で退けた。三回戦も三ヶ日打線を完封し7回コールド勝ち。続く四回戦はノースイードながら優勝候補にもあげられた菊川南陵と対戦。二試合連続完封の佐野が序盤で5失点の苦しい展開から3点返して追い上げたが、中盤もさらに4点失い、9対6で惜しくも敗れた。昨年に続いてベスト16で夏の大会が終了した。

新チームで臨んだ秋季東部大会は、初戦の沼津商には快勝したが、続く三島、日大三島に力負けし、県大会出場を一年連続で逃した。課題の投手陣を強化し、夏の大会では、ベスト8の壁を突破して夢の甲子園出場を果たして欲しい。

平成二十八年三月

葦山高校野球部OB会事務局

## 平成24年度OB会事業報告

(平成24年8月1日～平成25年7月31日)

### 1 活動状況(主な行事)

- 平成24年8月14日 平成24年度OB総会
- 平成25年3月10日 野球部年報・OB会報 「龍城球鬼」第16号発行
- 平成25年3月20日 卒業生OB会入会式
- 平成25年5月12日 新入部員父母会歓迎会 (父母会主催)
- 平成25年6月30日 夏の県大会背番号授与式 (野球部主催)

### 2 会員数及び会費納入状況

(平成25年7月31日現在)

名簿搭載	755名
実質会員	642名
(うち所在不明・永眠者)	113名
会費納入	
本年度分	231名 693千円
過年度分	2名 6千円

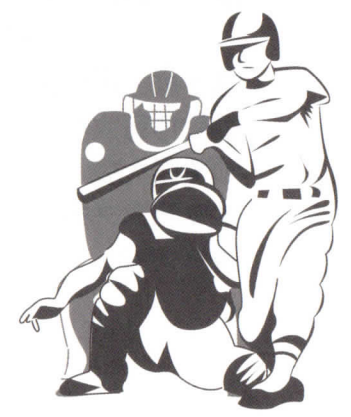
## 収支決算書(平成24年8月1日～平成25年7月31日)

収入の部	金額	摘要	支出の部	金額	摘要
前期繰越金	534,051		部活動援助等	360,780	バット14本 試合球10 捕手防具1式
年会費	699,000	233名	コーチ派遣費	50,000	JR東日本合宿参加費
雑収入	10,000	祝儀 長倉スポーツ	会報発行	84,630	沼津印刷 800部
預金利息	45	静銀普通預金	卒業生入会式	60,000	図書券 20名分
			慶弔費	30,000	小雀監督台湾選抜祝儀
				31,170	高3鈴木様、高3三枝様生花
				7,000	松島元監督退職花
			会議費	20,000	総会2名、父母会総会2回
				25,000	監督コーチ会議
			通信費	134,810	別納2、返信用葉書1、
			事務費	74,458	コピー、封筒、テープのり
			HP関係費	33,810	ドメイン更新料 レンタルサーバー
			雑費	20,630	どもむ缶年利用料
(特別収入)			(特別支出)		振込手数料、JR合宿宿泊代
特別寄付金	641,000	154名	特別贈呈品	464,100	ミズノ製スピードガン
タオル販売	253,500	124枚	タオル作成	240,315	マフラータオル150枚
			次期繰越金	500,904	内、故久保氏寄附金500,000円
合計	2,137,607		合計	2,137,607	

※送金料は各費目を含む

## 収支予算書(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

収入の部	25年度予算	24年度決算	支出の部	25年度予算	24年度決算
前期繰越	501	534	部活動援助等	550	411
年会費	1,070	699	(コーチ派遣費含む)		
雑収入	20	10	会報発行	85	85
預金利息	0	0	卒業生入会式	75	60
未払金			慶弔費	—	68
特別収入		895	会議費	55	45
			通信費	140	135
			事務費	90	74
			HP関係費	35	34
			雑費	10	21
			特別支出		704
			予備費	551	501
			(次期繰越)		
合計	1,591	2,138	合計	1,591	2,138



## 1 都市対抗野球で同級生OBが監督として対決!

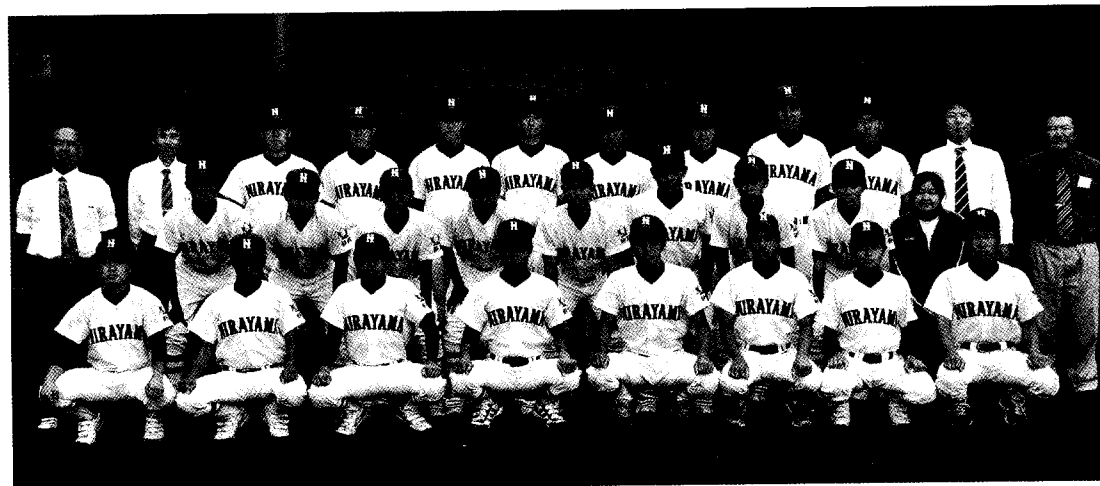
第84回都市対抗野球大会で、堀井哲也監督(高校32回卒)率いる東京都・JR東日本野球部と、木村泰雄監督(同回卒)率いる石巻市・日本製紙石巻野球部が準々決勝で対戦。都市対抗という社会人野球大会の最高峰で高校同級生が監督として対決する事は極めて珍しいことであり、新聞各紙でも話題となった。



試合前に握手を交わすJR東日本の堀井監督(左)と日本製紙石巻の木村監督=東京ドーム 毎日新聞社提供(写真)

JR東日本は、前々回優勝、前回準優勝、今回も準優勝と3年連続で決勝進出するなど、今やJX-ENEOSと並ぶ社会人野球の最強チームと評されている。堀井監督は2005年から同野球部を率いている。

日本製紙石巻は、2009年に木村監督が就任。2010年に続き今回が2度目の出場。同級生対決では惜しくも敗れたが、今大会では初勝利とベスト8を果たし、東日本大震災(2011年3月)からの復興を目指す被災地の人々に大きな感動を与えた。



## 平成25年の総括と 来春に向けて

部長 早川 敏

平成24年度は優秀な選手を多く抱えて夏の大会が終わりました。現3年生のスタートともいえる秋の大会は、出場経験者はエース佐野のみというチーム事情で、上昇気流に乗らないまま、東部大会敗退という結果に終わりました。しかしその後、選手は「丸」となってトレーニングに励み、OB、父母会、チーム関係者の願いが通じたのか、平成25年の春は東部大会優勝という輝かしい

成果を掲げ、夏の選手権大会ではシード校として名乗りを上げました。秋から翌年の夏にかけての伸びは素晴らしいものがありました。そして自信を持って臨んだ夏の大会では、菊川南陵高校にベスト8をかけて敗れたものの、大会を通して地元選手の力による文武両道を目指すチーム、今年も県下に葦山高校にありたいことを知らしめてくれました。

これも沢山のOBの方々、父母の会の皆様、その他関係者の方々の暖かい熱い応援のおかげであり本当に感謝しております。選手たちは野球で得たものを受験勉強に向け、がんばっており、春には素晴らしい進路報告ができるものと信じております。

さて現役部員たちですが、皆様の応援にもかかわらず先輩たちと同様に秋は東部大会で敗戦しました。敗因は今年も経験不足でした。昨年と同様、捲土重来を期して、新チームは丸となって冬のトレーニングをしていきます。

部長	早川 敏	
副部長	萩原 季弘	
副部長	美那川 雄一	
監督	小雀 浩一郎	
守備位	氏 名	出身中
外野手	菊地 大悟	函 南
内野手	山口 徹	熱 海
内野手	山口 武	大 仁
投 手	石井 誠哉	山 田
外野手	稲垣 貴晴	対 馬
内野手	遠藤 勇哉	修善寺
投 手	加藤 了也	三島南
外野手	上戸理一郎	長 岡
内野手	古賀 祐樹	北 上
内野手	小濱 寛之	北 上
投 手	佐野 優介	中 郷
投 手	杉山 純	長井崎
内野手	中野 亨哉	三島北
外野手	西尾 郁哉	大 仁
内野手	土方 捷平	西生田
内野手	平野 天	天 城
内野手	福井 瑠生	長 岡
投 手	増田 弦己	天 城
外野手	三田 智之	函 南
外野手	宮坂 亮祐	山 田
内野手	宮島 湧太	三島北
内野手	山田 智哉	大 仁
外野手	横山 達哉	熱 川
外野手	渡邊 和彦	葦 山
マネージャー	井伊 稔乃	函 南

▼準々決勝 2013年7月21日 東京ドーム

日本製紙石巻(石巻市)	000	000	000	= 0
JR東日本(東京都)	000	300	10x	= 4

## 2 葦山高校野球部 戦後の主な戦績 平成25年7月31日現在

- 春季県大会 15回出場(ベスト4入 3回、ベスト8入 4回…通算11勝15敗)
- 選手権静岡大会 67回出場、シード8回  
(優勝1回、ベスト4入 1回、ベスト8入 3回…通算68勝66敗)
- 選手権全国大会 1回出場(3回戦進出…2勝1敗)
- 国民体育大会 1回出場(1敗)
- 秋季県大会 17回出場(優勝1回、3位1回、ベスト4入 1回…通算11勝17敗)
- 秋季東海大会 2回出場(準優勝1回…通算2勝2敗)
- 選抜大会 1回出場(優勝1回…4勝)

# 新チーム紹介

全国制覇 主将 土屋 将平

僕達新チームは秋の大会では、東部大会で敗れ、県大会に出場することすらできませんでした。そこで感じたことは、野球の技術ではなく、日常生活やすべてのことに感謝するということができていないことです。そこで自分に何が求められているのかを、全員が考えて行動することを心掛けていきます。

新チームの目標は「全国制覇」です。僕達が全国制覇するためには、打撃力を生かし、走塁やバントを絡め、どこにも負けない攻撃を作り上げることが必要です。何点取られても集中力を切らさず、点を取り返して競り勝負を切り目指しています。また、僕達は「日本」応援されるチームを目指し、全国制覇することによって、たくさんの人に勇気や感動を与えられると信じて練習しています。

最後に、これまでの悔しい思いを忘れずに、この冬のトレーニングに励み、春夏には大きく成長した姿を見せられるように頑張ります。今年もよろしくお願ひします。

## 平成25年度を振り返って

監督 小雀浩一郎

OB会の皆様におかれましては日頃より野球部の活動に御協力と、多大なる御支援をいただき、誠にありがとうございます。

今年度は18年ぶりに春季東部大会で優勝し、県ベスト8に進出することができ、夏のシード権を獲得したこともあり多くの方に期待していただきましたが、夏の大会では準優勝した菊川南陵に敗れてしまいました。今大会屈指の好投手から6点を奪うことができたことは後輩たちにとって大きな自信となりましたが、昨年と同じベスト16での敗退は、もう少しやれたのではないかと反省と悔しさが残りました。選手たちは本当によく努力し、昨年とは違うチームカラーの強さを身につけることができました。甲子園という目標には手が届きませんでした。終わってみればもう少しだったという可能性を感じさせてくれたチームでした。

目標を引き継いだ新チームは不完全燃焼のまま秋季東部大会で敗れてしまい、秋のシーズンを試行錯誤しながら終えました。もう一度「応援されるチーム」とはどんなことなのか、「結束力」とはどのようなものなのか、原点に立ち返って考え、冬の練習に臨んでいます。春には皆様の期待に応えられ

## 現役チーム表

Table with columns for match dates, opponents, and scores. Title: 平成25年7月~11月

Table with columns for position, name, grade, and school. Lists players like 土屋 将平, 青木 純平, etc.



るようなチームになっていられるように生徒たちとともに努力して参ります。今後とも御指導、御鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

## 諦めない野球、そして感謝の気持ち

主将 菊地 大悟

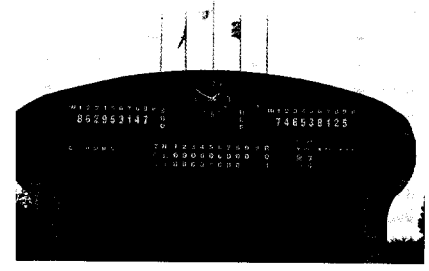
昨年も多大なるご声援ありがとうございました。今でも満員の愛鷹球場の景色は鮮明に覚えています。

さて、私たちは、夏の大会ではベスト16で敗退し、目標とする全国制覇は達成できませんでしたが、しかし葦山の持ち味である諦めない野球を体現できたことは誇りに思います。春の東部大会準決勝の飛龍戦、七点

差を跳ね返し勝ち進んだ結果優勝を掴み取れたことは、まさに諦めない野球の結果であり、私たちの大きな自信になりました。

この三年間、今思い返すとたくさんのお出来事が蘇ってきます。どれも私たちが大きく成長させてくれる糧となっていて、三年生二十五人誰に問うても野球部での経験は非常に大きいものだ、口をそろえるほどです。また、何度も壁にぶつかってき

ました。私達は、もうすぐ卒業しそれぞれが新たな道へ進みます。どの道へ進もうとも野球部での経験を生かしたいと思っています。また、全国制覇の夢は後輩たちに託すことになり、私たちが私達も葦高野球部の誇りを胸に全力で応援していきます。ありがとうございます。



## 戦績表 平成二十五年

Table with columns for date, opponent, score, and venue. Lists games from 7/24 to 8/9.

## 平成26年度 試合予定表

Table with columns for date, opponent, venue, and notes. Lists games from 8/3 to 10/10.

